

グローバルCOE「生体シグナルを基盤とする統合生命学」
平成22年度大学院講義 新国際基盤生命学特論2（コース4）

Alberto Luini, M.D.

Telethon Institute of Genetics
and Medicine, Napoli, ITALY

Membrane Traffic in the Golgi Complex



2010年12月13日（月）13:00～15:00

理学部2号館4F大講堂（担当：中野 明彦）

Luini 博士はゴルジ体研究の世界の第一人者であり、ゴルジ槽成熟の概念を最初に提唱した人です。ゴルジ体内膜交通の分子機構、その過程におけるシグナル伝達等についてお話しいたします。

Nakano & Luini (2010). Passage through the Golgi. *Curr. Opin. Cell Biol.* **22**:471-478.

Emr *et al.* (2009). Journeys through the Golgi - taking stock in a new era. *J. Cell Biol.* **187**:449-453.

De Mattis & Luini (2008). Exiting the Golgi complex. *Nat. Rev. Mol. Cell Biol.* **9**:273-284.

成績評価：レポートにより判定します。

これまで実施した3コース、本コースのうち2つについてレポートを提出。

※今回は実施直前の通知となったため、出席は評価に使用しません。

レポート課題：講演の要点と感想をA4レポート一枚にまとめる。

提出期限：12月27日

提出先：題名「新国際基盤生命学特論2（Luini 博士）」としてメールで下記宛先へ。

gCOE 講義係 <gcoe_lec@biol.s.u-tokyo.ac.jp> (3日以内に返信がなければ再度確認のこと。)

レポート担当教員：柳澤 春明 生物科学専攻分子生理学研究室（内線 24427）

責任者：武田洋幸（理学系研究科生物科学専攻）htakeda@biol.s.u-tokyo.ac.jp（内線 24431）